

# 四拾七新聞

第60号

## ちくむ47 台湾遠征

サイパン以来、約13年ぶりとなる台湾カート合宿が実施された。佐伯選手の案内の下、木村(敏)、黒田、廣田、木村(幸)の計5名が5日間の旅を楽しんだ。

## 台湾カート合宿

2019. 2. 20~2. 24



ミニ鈴鹿サーキット (高雄)

初日は、高雄空港に着すると、無料シャトルバスでランタンフェスティバル会場へ向かった。夕暮れ時に滞在したため、大鵬湾に沈む夕日と暗闇に浮かび上がるランタンの両方を見ることができた。

包に舌鼓、午後からミニ鈴鹿サーキットでカート走行をした。名前のとおりS字、ヘアピン、スプーンカーブの他、立体交差も再現されていて、鈴鹿サーキットを走っているように面白かった。その日のうちに、新幹線で台北へ移動したが、気温25度の真夏から、一気に冬に引き戻された。三日目は、故宮博物院を見学した後、列車とバスを乗り継いで九份を観光した。故宮博物院では、2大シンボルである白菜と角煮の石が貸し出し中で、実物を見ることができず、九份では、激しい雨と寒さのため、早々に観光を切り上げて台北へ戻った。観光は残念だったが、夕食では火鍋の食べ放題を堪能した。四日目は、台北市内の中正記念堂、国父記念館、台北101などを巡り、夜は士林夜市をぶらついた。最終日は、たくさんの土産と思い出を抱え、桃園空港から帰国の途に就いた。

